

より早く、より正確に！

Emergency Call Assistance



いざという時の
命をつなぐ

119番受付・口頭指導支援システム
第2世代リリース！

- ✓ 指令室と現場のリアルタイム情報共有
- ✓ 的確な口頭指導で応急手当をサポート！
- ✓ 緊急時の対応力をさらに強化！

能美市消防本部

Emergency Call Assistance

平成28年(2016年)

消防職員が独自開発・運用してきた
119番通報総合受付支援システムを
大規模改修し第2世代をリリース!

指令室と現場の
リアルタイム
情報共有!



初代の運用からの10年間で**2万件超**の
実通報事案データ、事後検証フィードバック、
ヒヤリハット事例、教育用アーカイブ等が蓄積され、
第2世代開発の**基盤**となりました



☒ 指令室と現場の
リアルタイム情報共有!

☒ 的確な**口頭指導**で
応急手当をサポート!

☒ 緊急時の**対応力**を
さらに強化!



能美市消防本部

★第2世代の 5つの設計思想

1



心停止認識精度の更なる向上

指令員の主観も通報者の主観も介在させず、
観察事実をシステムが受け取って判定します。
これにより**一定品質の状態判定が可能に！**

2



資格に依存しないCPA判断の口頭指導

救急救命士の資格を持たない指令員であっても、
適切なCPA判断と口頭指導を行えるように！

3



フロー記憶からの解放と関連知識の学習

「指令員にフローを覚えることを求めない」だけでなく、
「業務を行いながら関連知識を学べる」二重効果を
生み出しました。

4



質問文言の継続的な改定

「指令員が読み上げやすく、かつ通報者が理解しやすい」
表現へと調整。文言は固定されたものではなく、
現場で**使われ続けることで磨かれて行く資産**である。

5



無線送信を最小化するモバイル端末連携

指令室で受け取った災害情報がリアルタイムで選択した
出動車両のモバイル端末すべてに同時配信。初代では実現
できなかった「**指令室と現場のリアルタイム情報共有**」を
完全実現」

能美市消防本部

☆第2世代の

主要な新機能



1 CPR口頭指導の徹底支援

17種類の胸骨圧迫指導文言の自動選択表示、蘇生協力者を介しての質改善ループ、バイスタンダー交代指導の自動表示など、現場で求められる細やかな支援をバージョンアップして実装。



2 訓練モード

実事案ベースの10本（心肺停止、多数傷病者交通事故、分娩等）のシナリオを収録。想定外の事態への対応力も鍛えられ、現実に起こり得る通報を再現。



3 事後検証表示機能

各事案について、時系列で記録・可視化します。判断に時間を要した質問は色分け表示されボトルネックが一目で把握できます。この機能は単なる記録にとどまらない。



4 エビデンスに基づく設計

本システムは当消防本部が共同研究者として関与した研究成果に基づいている。電話越しに評価困難な胸骨圧迫の質を、現場の蘇生協力者「もう一つの目」として補う発想を機能化



5 多彩な処置指導の拡充

止血指導、切断対応、熱傷対応、分娩対応、異物除去、誤飲対応など実際の119番通報で求められるあらゆる処置指導を網羅。



能美市消防本部